

鎌ヶ谷市

郷土資料館

だより 第43号

目次

- 収蔵資料展示 vol. 16「歴史的公文書からみる明治末～大正初期の鎌ヶ谷村と議会」
..... 1
- 平成30年度の行事予定..... 2・3
- 平成29年度企画展「鎌ヶ谷・おふだづくし」は今月27日まで／図録販売中／郷土資料館この一品②..... 4

収蔵資料展示 vol. 16

歴史的公文書からみる

明治末～大正初期の鎌ヶ谷村と議会

～村役場職員数はたったの6名？ 村財政のピンチ？ 腸チフスが流行？
あなたの知らない鎌ヶ谷村～

郷土資料館では第16回収蔵資料展示を6月2日（土）から開催する予定です。今回のテーマは「歴史的公文書からみる明治末から大正初期の鎌ヶ谷村と議会」です。

鎌ヶ谷市の現在の職員数は市長を含め、725名ですが、明治44年（1911）の鎌ヶ谷村の職員数は村長を含め、たったの6名でした。このことは、郷土資料館に移管された歴史的公文書「議会関係文書綴」に記載されています。

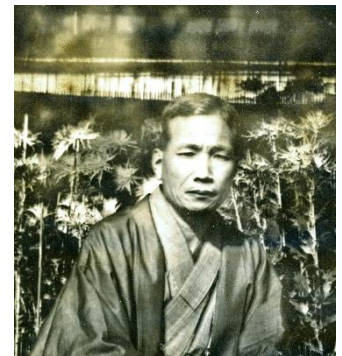
この「議会関係文書」は明治43年（1910）から大正2年（1913）までの鎌ヶ谷村議会関係の公文書を綴った史料ですが、明治43年・44年の史料はよく残されており、丁寧に読み込むと当時の鎌ヶ谷村の様子がよくわかります。

例えば、明治の町村制が目指したのは、基本財産があり、村税の徴収なしで村経済を維持できる「不要公課町村」ですが、このころ、鎌ヶ谷村の財政は逼迫しており、財産が蓄積できていませんでした。当時の町村制の理想と実際の村財政がかけ離れていた様子がみてとれます。またこの時代、村内では腸チフスなどが流行し、

同種の病気にかかった患者が合計210名も出て、村もこの対応に苦慮している様子がわかります。

このように、当時の公文書を読んでいくと、鎌ヶ谷村が成立して20年以上が経過してなお、村の運営に苦悩している当時の様子が浮かび上がってきます。

また、大正2年の村長選関係の史料なども展示予定です。



第19代村長 笠川慶次郎
（大正2～3年）



議会関係文書綴

郷土資料館 平成30年度の行事予定

※各行事の内容・開催日は予定であり、変更になる場合があります。詳細は「広報かまがや」でお知らせします。

◇展 示

1. 第19回ミニ展示

「地区の歴史と文化財⑦ 一初富一〈前期〉
～初富地区の埋蔵文化財～」

はやしあよ 遺跡、東林跡遺跡、むかいやま 遺跡、ごほんまつ 遺跡など初富地区の遺跡から出土した旧石器、縄文、古墳、奈良・平安の各時代の出土遺物を展示します。特に、市域の歴史の幕開けとなる旧石器時代（1万5千年より前）の石器を一堂に展示する予定です。

■展示期間（予定）

7月21日（土）～9月30日（日）

2. 第20回ミニ展示

「幕末・維新の鎌ケ谷〈仮題〉」

今年は、徳川幕府が終焉し、明治という新しい時代が始まった慶応4（明治元）年（1868）から150年目の節目の年にあたります。そこで、郷土資料館では嘉永6年（1853）の黒船来航にはじまるこの幕末・維新が市域にどのような影響を与えたのか、関連する史料からご紹介していきます。江戸時代、市域の一部を支配していた田中藩の慶応4～明治2年の日記など初公開史料もあります。

■展示期間（予定）

12月15日（土）～2月24日（日）

3. 第21回ミニ展示

「地区の歴史と文化財⑦ 一初富一〈後期〉
～近代初富の歴史と民俗～」

初富開墾開始150周年企画として、小金中野牧を開墾して誕生した初富の成り立ちと、明治・大正・昭和の変遷を語る史料や人びとの信

仰を示す民俗資料を展示します。また、あわせて昔の初富の景観や行事を撮影した写真パネルも展示します。

■展示期間（予定）

平成31年3月16日（土）～5月26日（日）

4. 新規収蔵資料展示

「新しい鎌ケ谷のたからもの」

平成29年度に市民の皆様から寄贈いただいた歴史・民俗資料と、市内遺跡の発掘調査で出土した遺物などの「新しい鎌ケ谷のたからもの」を展示します。

■展示期間（予定）

10月27日（土）～12月2日（日）

◇講 座（子ども向け）

夏休み子ども企画

1. まが玉づくり

2. あんぎんコースターづくり

まが玉作り：大昔の人のアクセサリである「まが玉作り」をすることで、当時の生活に対する理解を



深めてみませんか。

ほら、上手にできたよ！

あんぎんコースター作り：今では簡単に手に入る布も以前はすべて手作りでした。大昔の編み方「あんぎん編み」でコースターを作成することで、当時の生活に対する理解を深めてみませんか。

■開催日（予定）

まが玉づくり：8月12日（日）

あんぎん編み：8月25日（土）

3. 昔のくらしふれあい広場

郷土資料館にある、昔の人が使っていた道具を、触ったり動かしたりすることができます。形をかえて今も残るもの、今はなくなってしまったものにはどんなものがあったのでしょうか。



昔の道具を使って体験

■開催日 調整中

4. たんけん！郷土資料館

郷土資料館のウラ側を学芸員が案内します。

■開催日 調整中

子ども体験教室

1. 縄文人の生活ウォッチング

昔の人がやっていた「火おこし」・「あんぎん編み」に挑戦してみませんか？ 本物の土器にも触ることができます。

■開催日（予定）

5月26日（土）

2. 子どもワークショップ

郷土資料館にある写真から少し昔の鎌ケ谷の様子を学び、昔の道具を使って、当時のくらしを体験します。

■開催日 調整中

◇講座（一般向け）

1. 鎌ケ谷古文書講座（初級）

初めて古文書を読む方のための入門講座です。鎌ケ谷に関連した江戸時代の古文書をテキストとして、5回シリーズでその読解と歴史的な内容を学びます。

■開催日（予定）

6月15日・7月13日・8月17日・9月

21日・10月12日のいずれも金曜日

2. クールシェア企画

夏の暑い日は、みんなで郷土資料館に集まろう！ 一人1台のエアコン使用を控え、涼しいところに集まり夏を快適に過ごす「クールシェア」の一環として、郷土資料館では「学芸員の資料紹介」と「昭和の歴史とレコードで聞く歌謡曲」の2つのイベント数回ずつ開催します。

■開催日 調整中

3. 郷土資料館セミナー

「女性の歴史と民俗（仮題）」をテーマに外部講師を招き、11月から1月にかけて全4～5回シリーズで開催する予定です。

■開催日 調整中

4. 歴史講演会Ⅰ・Ⅱ

外部講師を招いて、鎌ケ谷の歴史やその周辺地域の歴史に関する最新の研究成果をお話いただきます。

■開催日 調整中

5. 学芸員講座

郷土資料館の学芸員が、日ごろの調査・研究の成果をお話しします。

■開催日 調整中

6. 自然観察会

豊かな自然がまだ残されている市域で、野鳥や植物を観察しながら自然とふれあってみませんか。

■開催日 調整中

7. 博物館探訪

市のバスで近隣の博物館を訪問し、展示物や鎌ケ谷市に関連した資料を学芸員の方に解説していただきます。

■開催日 調整中（2～3月）



平成29年度企画展

「鎌ヶ谷・おふだづくし」 今月27日まで

2月17日からスタートした、平成29年度企画展「鎌ヶ谷・おふだづくし～信仰の玉手箱～」が間もなく終了となります。現在開催中の後期の展示では、初富の旧家（真言宗寺院の檀家）から寄贈していただいたおふだ

の中から、寺院発行のものを多数展示しています。また、これらと比較するため、日蓮宗寺院檀家の中沢の旧家で確認されたおふだもあわせて展示しています。

展示は5月27日（日）までです。明治以降の近代・現代の人びとがおふだに何を期待していたのか、ぜひご来場のうえ「信仰の玉手箱」を開けてみてください。

図録も好評発売中！

企画展に合わせて作成した図録『鎌ヶ谷・おふだづくし』も好評発売中です。

この図録には、初富・佐津間・中沢地区それぞれの旧家から見つかった神社および寺院発行のおふだの中から約380点を収録しています。図録はA4判52ページで300円。お求めは郷土資料館でどうぞ。

郷土資料館この一品②

根郷貝塚に埋葬された人びと

郷土資料館入り口のすぐ右側に、一体の人骨を展示しています。この人骨はファイターズタウンに隣接する「根郷貝塚」から発掘した、推定身長142.9cmの20歳代とみられる女性で、膝を折り曲げた屈葬と呼ばれる形で埋葬されていました。

根郷貝塚は、中沢貝塚とともに市内を代表する遺跡であり、縄文時代中期の住居跡が32軒確認されている集落跡です。

昭和53年（1978）の発掘調査で、1軒の堅穴住居跡から6体の埋葬人骨が発見されました。このような堅穴住居を再利用した墓を廃屋墓と呼びます。根郷貝塚で



根郷貝塚から出土した女性人骨

は、バンドウイルカの下顎骨製の腰飾りを装着した壮年期男性や、イノシシの牙製の腕輪を装着した熟年期男性の人骨も出土しています。こうした装飾品は、誰もが身につけられるものではないことから、これらの人物は根郷貝塚や周辺のムラをまとめるリーダー的な存在であったと推測されます。

鎌ヶ谷市郷土資料館だより 第43号 平成30年5月1日発行 編集・発行：鎌ヶ谷市郷土資料館

住所：〒273-0124 鎌ヶ谷市中央1-8-31 Tel：047-445-1030 Fax：047-443-4502

メール：kyodo@city.kamagaya.chiba.jp

ウェブサイト：<http://www2.city.kamagaya.chiba.jp/shiryokan/kyoudo.html>